

NPO法人 地球環境カレッジ

# 子ども環境カレッジ「はじめての、冬の野鳥観察会」

特定非営利活動法人(NPO法人)『地球環境カレッジ(Global Environmental College:GEC)』は、一般市民を対象に環境学習・教育事業などを行い、環境保全・改善意識の啓発・普及に貢献することを目的として、昨年2月に設立されました。

2004年度は、定例講演会を5回開催したほか、水辺・里山などを活用した自然観察会として、主に小中学生を対象とした「子ども環境カレッジ」を2回企画しました。10月の「親子水辺の生きもの観察会」は台風のため中止されましたが、翌年2月には、「はじめての、冬の野鳥観察会」を開催しました。

以下、2月に開催した野鳥観察会について報告します。

## 観察会レポート

実施日：2005年2月26日(土)

場 所：GEカレッジホール(国土環境(株)内) および駒沢公園

午前9時、GEカレッジホールに集まった参加者は23名。野外に出て鳥を観察する前に、室内でレクチャーを行いました。鳥の体のしくみや特徴、鳥の生息場所やくらしについて、写真やイラストを使ったスライド説明の後、双眼鏡を手にとって操作してもらいました。



レクチャーの様子

GEカレッジホールから駒沢公園までは徒歩10分。公園に入ると、葉のない木々の枝にとまっている鳥たちを簡単に見つけることができました。参加者達はさっそく、双眼鏡で覗いてみます。一方で、子ども達の視線を集めたのは、広場の地表を飛び回っているハクセキレイでした。



ハクセキレイ



双眼鏡を覗く参加者達

公園内を奥へ進むと、枝いっぱいには花を咲かせた梅の木々が見えてきました。近寄ってみると、枝にはメジロが1羽、2羽。先に見つけた参加者が、「そこにいるよ!」と指差しても、小さなメジロは花に見え隠れして、なかなか見つけることができません。…「見つけた!」メジロも、子ども達の人気者になりました。



メジロと梅の花

花を好み、枝にとまっている鳥もいれば、木の下の方を好む鳥もいます。姿勢を低くして待っていると、めずらしいシロハラに出会えました。しかし、シロハラはすぐに薄暗い茂みに姿を隠してしまいました。

### <今回観察できた鳥>

ハクセキレイ、メジロ、ヒヨドリ、シジュウカラ、キジバト、スズメ、ムクドリ、ツグミ、シロハラ、ハシブトガラス、ドバト

### <参加者(その保護者)の声>

「レクチャーも公園での観察も楽しかった。教えてくれた人も優しくかった。」「今回のように身近な自然に触れることのできるイベントは、とても貴重な体験をさせてくれます。またこのような機会があればぜひ参加したいと思います。」「もう少し双眼鏡を使いこなして、耳も研ぎ澄まして鳥を見、声を聴きたいと思います。」

今回は冬の野鳥に焦点をあてて、初めての方を対象として、観察のポイント解説などを交えつつ、身近な場所で見ることができる鳥たちを観察しました。このようなイベントを通して、野鳥やそれらの生息している環境に対する、子ども達の関心と理解を少しでも深めていただけたなら幸いです。今後の活動にも、どうぞご期待ください!

国土環境株式会社は、今後もこの法人の会員として、NPO法人地球環境カレッジを支援していきます。

(NPO法人 地球環境カレッジ 事務局 藤原 悦子)